



2008年2月1日

各 位

会 社 名 イオン九州株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松 井 博 史  
( J A S D A Q ・ コード 2 6 5 3 )  
問合せ先  
役職・氏名 取締役経営企画本部長  
宇都宮 剛  
電話 0 9 2 - 4 4 1 - 0 6 1 1  
当社の親会社 イオン株式会社  
取締役兼代表執行役社長 岡 田 元 也  
( 東証一部・コード番号 8 2 6 7 )

## 2008年2月期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2007年10月4日に当社「2008年2月期中間決算短信(非連結)」で発表しました2008年2月期(2007年2月21日~2008年2月20日)の業績予想を修正し、特別損失の計上と併せて、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 2008年2月期 通期業績予想の修正 (2007年2月21日~2008年2月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	240,000	2,050	2,000	860
今回修正(B)	240,000	1,000	860	380
増減額(B-A)	-	1,050	1,140	480
増減率	- %	51.2%	57.0%	55.8%
【ご参考】 前年同期実績	210,348	826	855	213

#### 修正理由

当下半年(2007年8月21日~2008年2月20日)は、(株)マイカル九州と合併、新生イオン九州として新たなスタートを切り、トップバリュの拡販やギフト・年末年始商品の販売強化等により食品及び住居余暇商品の売上が順調に推移、既存店売上は対前年同期比100%を超え営業収益は予想通りの数値を確保できる見込みです。しかしながら、12月中旬以降の高気温によ

る防寒商品の動きの鈍化に加え、株式市況の悪化や国内経済の不透明感による消費の冷え込み等により、衣料品やホームセンター商品の売上が伸び悩みました。

結果、物価上昇傾向下での価格競争激化や季節商品の売価変更の増加により、荒利益率が当初計画に対して衣料品で 1.3%、食品および住居余暇商品で 0.5%、ホームセンター商品で 0.6%不足し、会社合計の荒利益率が計画に対して 0.8%下回る見込みであります。

このような情勢を勘案し、10月4日に公表いたしました通期業績予想につきまして、営業利益 10 億円、経常利益 8 億 60 百万円、当期純利益は下記の特別損失や株式会社マイカル九州との合併で受入れた法人税法上の繰越欠損金による法人税等調整を含め、3 億 80 百万円に修正することとなりました。

## 2 . 特別損失の計上

当社は、固定資産の減損に係る会計基準に従い、店舗等の減損損失を下記の通り計上する予定です。

店舗等の減損損失      4 億 9 百万円

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以      上